

平成 27 年 (2015 年) 10 月 14 日 (水)

静岡新聞 夕刊

# 「浜松新電力」あす設立

## 市、地元企業など出資

浜松市が市出資の株式会社「浜松新電力」を15日に設立することが、14日分かった。浜松地域の官民が連携し、再生可能エネルギーの地産地消を進めるのが狙いで、同市中区の浜松商工会議所内に本社を置く。電力小売りの完全自由化に合わせ、来年4月の事業開始を目指す。浜松新電力に出資するのは市とNTTフアシリティーズ(本社・東京都港区)のほか、NECキャピタルソリユーション(同)、さらに浜松地域を拠点とする遠州鉄道、須山建設、中部ガス、中村建設、静岡銀行、浜松信用金庫の計9者。出資金は計約6千万円。全国トップ級の日照時間など地域特性を生かした太陽光発電、バイオマス発電、小規模水力発電などによる電力を同社が買い取り、公共施設や企業などの需要先に売電するという。

市などは地域資源の有効活用による地域経済の活性化、市民の環境意識の醸成にもつなげたい考え。11月6日に同社の設立総会を予定している。

新電力会社設立は政令市では初の取り組み